

関西実験動物研究会第 156 回研究会

<会員発表> (発表 7 分、質疑 3 分：合計 10 分)

1. 優秀発表賞応募演題 9 件

10:00~10:50 座長：横井 伯英 (京都大学大学院農学研究科 動物遺伝育種学分野)

S-1 ラット食餌誘発性 NASH の肝線維化病態における CD44 の寄与

○宇野 絹子、太田 毅 (京都大学大学院農学研究科・生体機構学分野)

S-2 肺線維症モデルの確立と胎児肺由来細胞の移植の検討

○北室 皓平、磯谷 綾子 (奈良先端科学技術大学院大学)

S-3 ガラクトース転移酵素遺伝子のコンディショナルノックアウトマウスを用いた IgA 腎症発症機構の解析

○馬場智子^{1, 2}, 成瀬智恵², 松崎朋子², PAN XUCHI², 浅野雅秀²

(¹京都大学大学院生命科学科、²京都大学大学院医学研究科 動物実験施設)

S-4 軸索変性を呈する *Hspa8* 遺伝子変異ラットの病態進行と軸索輸送に着目した中枢神経病変の解析

○関口 隆寛, 田中 美有, 藤川 諒子, 井澤 武史, 桑村 充 (大阪公立大学・獣医病理)

S-5 異種間キメラの体内で作成したラット肺は呼吸機能を獲得する目前まで成熟している

○村田大和⁽¹⁾、由利俊祐⁽³⁾、伊川正人⁽²⁾、磯谷綾子⁽¹⁾

(1.奈良先端大・バイオ 2.阪大・微研 3.長寿研)

10:50~11:30 座長：磯野 協一 (和歌山県立医科大学 附属動物実験施設)

S-6 肥満糖尿病モデル ZFDM ラットの糖尿病発症における性差の解明

— 臍島の形態および遺伝子発現に関する検討 —

○伊藤佑奈¹、肖 玉婷¹、重中咲希¹、中田千陽¹、水野智花¹、星野貴一²、横井伯英¹

(¹ 京都大学大学院農学研究科・動物遺伝育種学分野、² (株) 星野試験動物飼育所)

S-7 Study on the role of glycosylation in embryogenesis

○Shuang Li, Chie Naruse, Heng Wei, Kazushi Sugihara, Masahide Asano

(Institute of Laboratory Animals, Graduate School of Medicine, Kyoto University)

- S-8 Optimizing CRISPR Precision in Mouse Embryos via MMEJ-Dominant Targeting
○Khanui Lkhagvadorj¹, Eiichi Okamura¹, Yasushi Itoh², Knut Woltjen³,
Masatsugu Ema¹ (¹Department of Stem Cells and Human Disease Models,
Research Center for Animal Life Science, Shiga University of Medical Science,
²Division of Pathogenesis and Disease Regulation, Shiga University of Medical
Science, ³Department of Life Science Frontiers, Center for iPS Cell Research and
Application (CiRA), Kyoto University)

- S-9 アデノ随伴ウイルスを用いた Trophectoderm 特異的遺伝子導入法の開発
○中川 達哉^{1,2}、江森 千紘¹、伊川 正人^{1,2} (¹大阪大学微生物病研究所、²大阪大
学薬学研究科・遺伝子機能解析分野)

2. 一般演題 4 件

11 : 40~12 : 20 座長 : 太田 毅 (京都大学大学院農学研究科 生体機構学分野)

- G-1 霊長類に特有な胎盤形成機構の解明
○武藤真長¹、松本翔馬¹、岡村永一¹、依馬正次^{1,2} (¹滋賀医科大学・動物生命科学
研究センター、²京都大学・高等研究院ヒト生物学高等研究拠点)
- G-2 ロルラチニブによる ROS1 活性阻害は雄マウスの生殖能力を可逆的に抑制する
○宮田 治彦、大山 裕貴、伊川 正人
(大阪大学微生物病研究所・遺伝子機能解析分野)
- G-3 希少疾患NGLY1欠損症モデル動物の樹立と治療方法の開発
○朝比奈 誠^{1,2}、藤縄 玲子^{1,3}、平山 弘人^{1,3}、兎沢隆一^{1,2}、鈴木 匡^{1,3}
(¹Takeda-CiRA Joint Program (T-CiRA)、²武田薬品工業株式会社リサーチ部
門、³理化学研究所開拓糖鎖生化学研究室)
- G-4 *Filobacterium* 属菌のゲノムはなぜコンパクトなのか？
肺パスツレラのゲノムとの比較から見えること
○池 郁生¹、梶田亜矢子¹、小倉淳郎¹、目加田和之²、小久保年章³
(¹理研 BRC、²岡山理科大学理学部、³元・量子科学技術研究開発機構)